



インターバル実習 説明資料

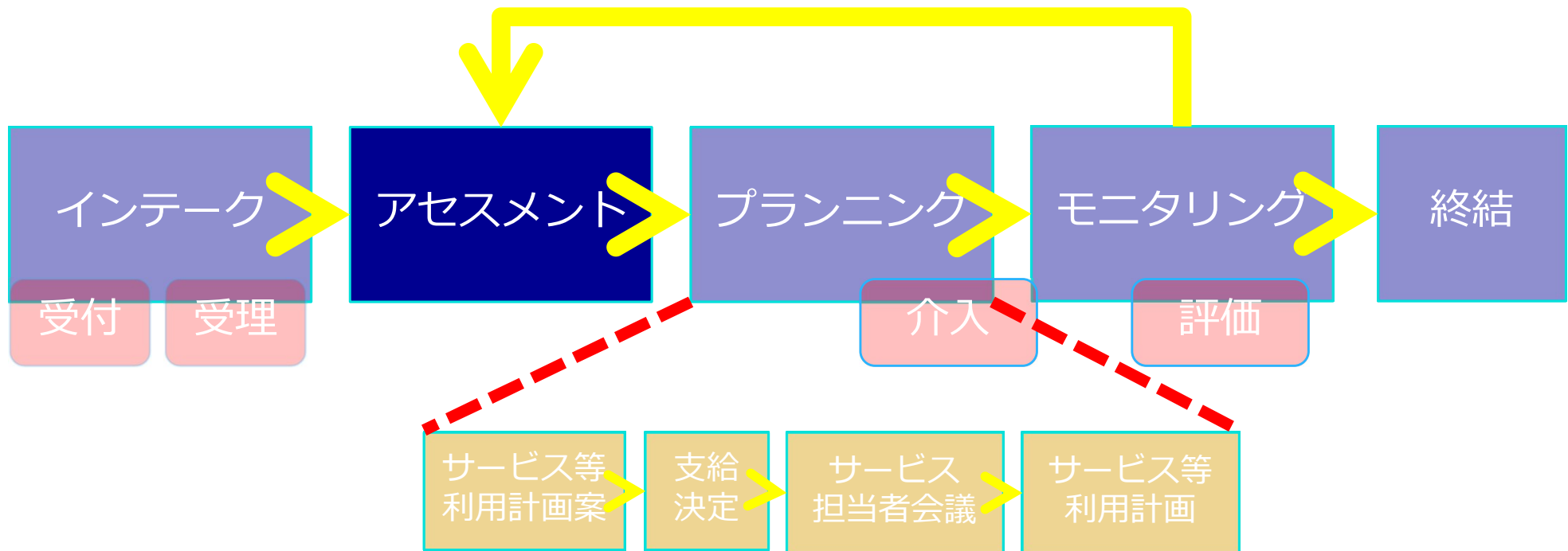
◎ ニーズ整理表についての説明 （新カリキュラムから導入）

地域生活支援センター天花
主任相談支援専門員 藤田 利江



§2 アセスメント（情報の収集と分析）

演習1 相談支援におけるケアマネジメントに必要な視点と技術





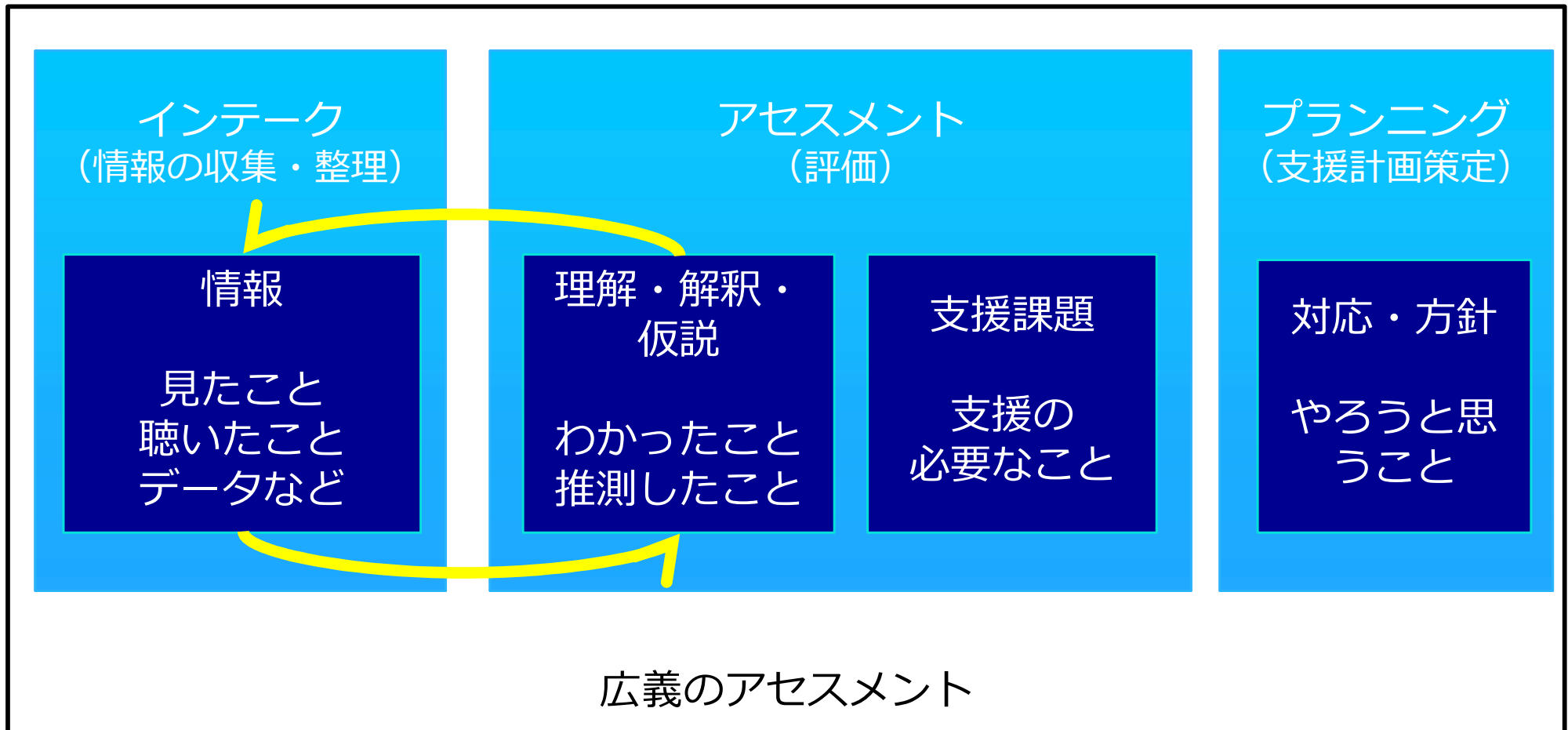
復習 アセスメントの留意点①

演習 1 相談支援におけるケアマネジメントに必要な視点と技術

ニーズ整理

- ・ 本人の意思表示、客観的状況、支援者や周囲の判断を分けて考える。
(基本は本人の言葉や、選んだこと、好きなことから始まる)
- ・ **援助者（自分）の判断の根拠**を可視化、言語化する。

二一ズ整理



近藤直司

『医療・保健・福祉・心理専門職のためのアセスメント技術を高めるハンドブック』

ニーズ整理票		アセスメント			プランニング
インタビュー		アセスメント			プランニング
情報の整理 （見たこと、聴いたこと、データなど：事実）		理解・解釈・仮説 （作成者のとらえたかた、解釈・推測）	理解・解釈・仮説② （専門的アセスメントや他者の解釈・推測）	支援課題 （支援が必要と作成者が思うこと）	対応・方針 （作成者がやろうと思うこと）
本人の表明している 希望・解決したい課題	（作成者の）おさえておきたい情報	生物的事象			
		心理的事象			
		社会性・対人関係の特徴			
		環境			
今回大づかみに捉えた本人像（100文字程度で要約する）					
（ここに本人像の要約を記入する）					

「見立て」のヒント

「黄色のベ●ザブロックください。」

- ・ 薬を買いに来たのか！（事実の追認）
- ・ 鼻づまりなのかな？（症状の推測）
- ・ 風邪？アレルギー？（原因の推測）
- ・ つらそうだ（観察）
- ・ どれくらいつらいんだろう？（程度の疑問）
- ・ 病院には行ったのだろうか（治療の疑問）
- ・ 病院に行ったほうがいいのか（治療の疑問）
- ・ 病院に行く余裕がないのではないか（環境の推測）
- ・ まずは症状を抑えたいのではないか（希望の推測）
- ・ 同様の薬を特売しているのでそちらを勧めよう。

アタマの中で、
何も思わない人
はいない

「見立て」のヒント

「黄色のベ●ザブロックください。」

アタマの中で、
何も思わない人
はいない

- 本人の主訴や様々な情報を手掛かりに
→ 根も葉もない推測は削除する。
→ 真実から遠い推測は削除する。
(前提として、そのために必要な情報を入手する)
- 本人のゴールを確かめ(ともに作り)
→ 確かに本人の望んでいることは何なのかをつかむ。
- そのゴールの達成に必要な推測を続け、
確かなことを高めてゆく(根拠に基づく推測をする)。

二一ズ整理

インタビュー (情報の収集・整理)

情報

見たこと・聴いたこと・データなど

本人の希望

「黄色の
ベ●ザ
ブロック
ください。」

(支援者自身の)押さえておきたい事実

- ・くしゃみと鼻水が2週間続きつらさが継続。
- ・11月、秋花粉の時期
- ・毎年こうなる
- ・他の症状はない
- ・毎年薬を出してもらっていた。

アセスメント (評価)

理解・解釈・仮説

- ・風邪もしくはアレルギーではないか。
- ・花粉アレルギーで、自分の状況はよくわかっているが、今年は医者に行きそびれ、市販薬を買いに来たのではないか。

支援課題

- ・(過去にもこの薬を使ったかことがあるか確認し)市販薬を販売する。
- ・今年も受診をすすめる。

二一ズ整理① 本人の希望をおさえよう

インタビュー
(情報の収集・整理)

情報
見たこと・聴いたこと・データなど

本人の希望

赤

赤

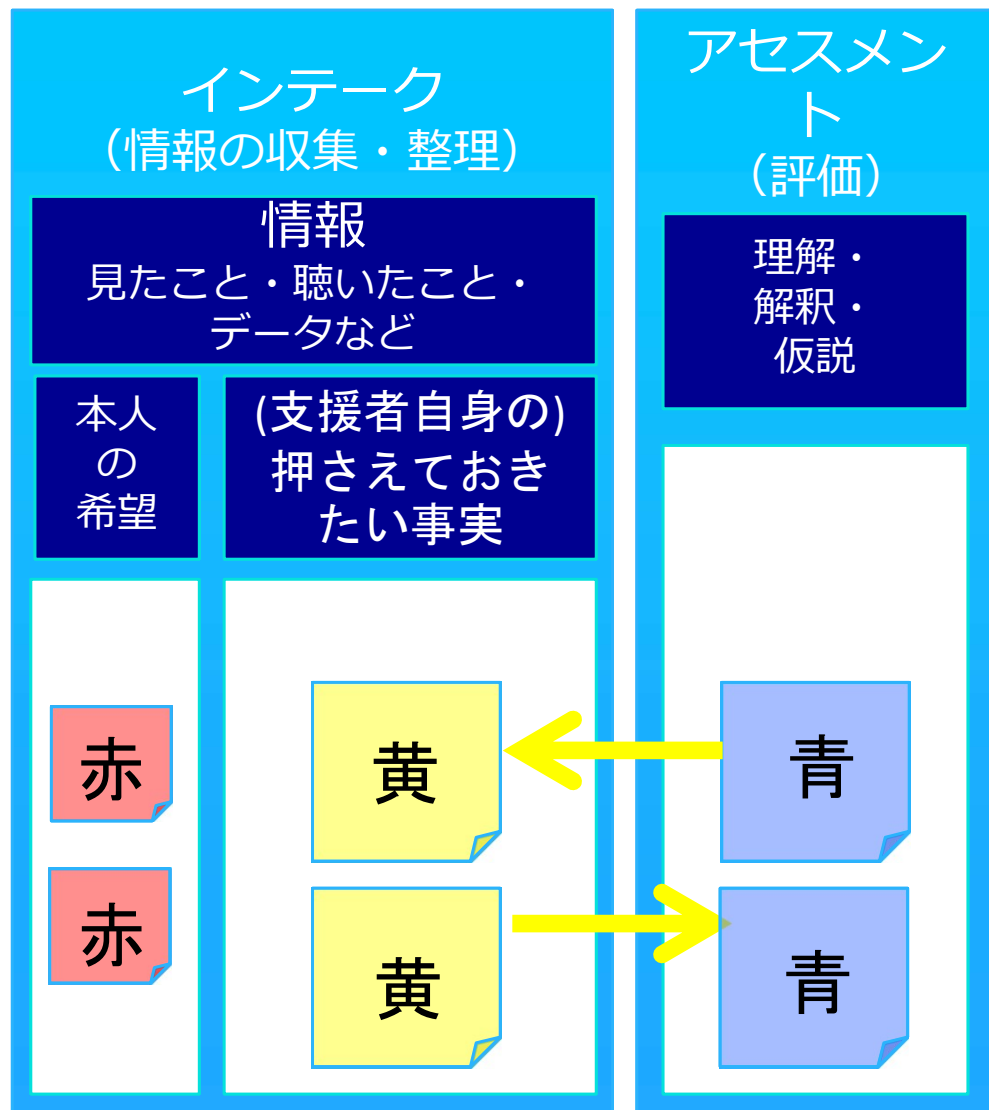
もう一度事例を読み込みます。

① 本人の意思や希望を赤いふせんに書き出します。
(そのままの言葉で)

★ 1項目に1枚のふせん

【再確認】

ニーズ整理② 「見立て」てみよう



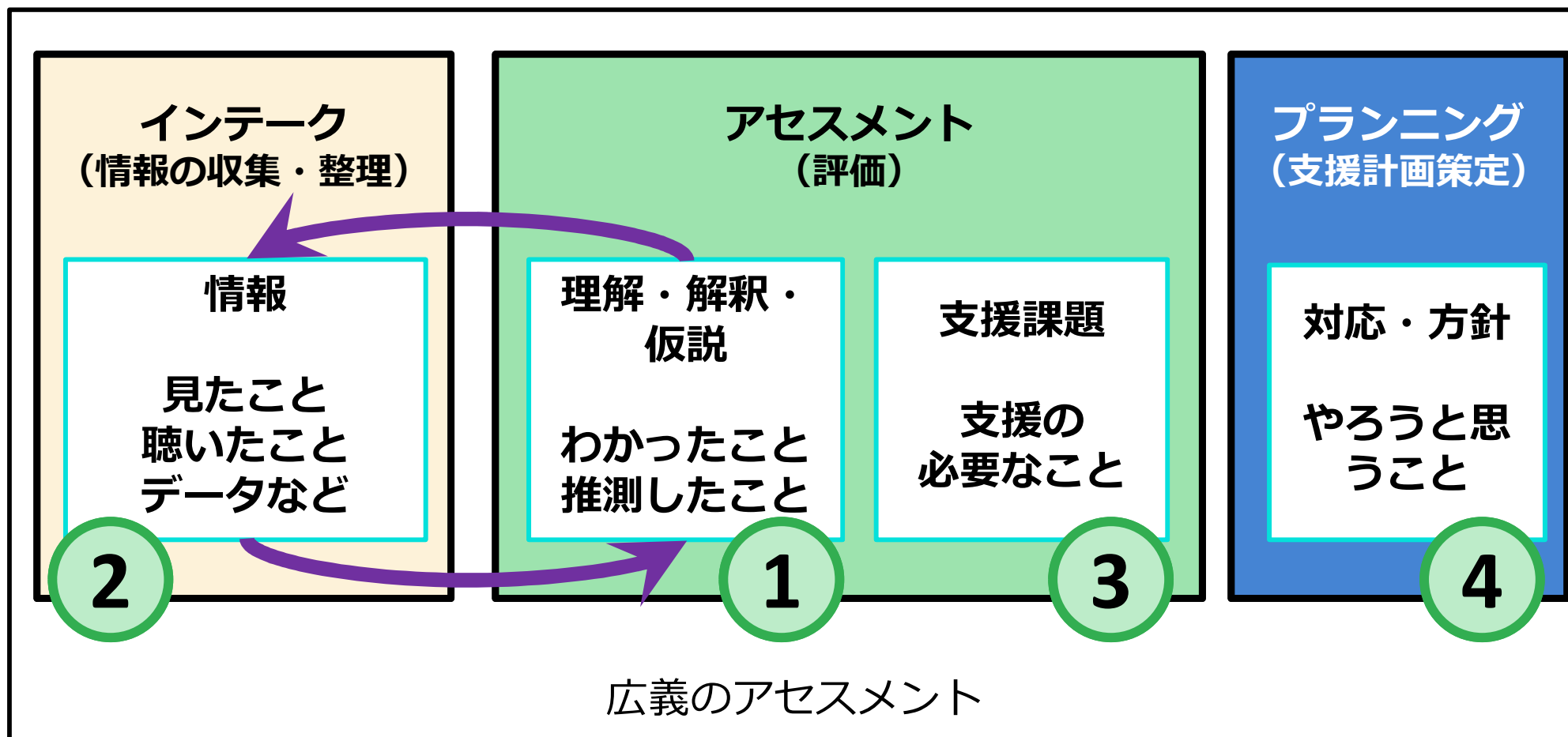
アタマの中で考えていることを可視化します。

① 「もしかしたら〇〇かもしれない」というような仮説（理解・解釈）などを**青のふせん**に書き出します。

②（見たこと聞いたことの）事実や情報を**黄色のふせん**に書き出します。

ふせん1枚に1つ書いてください。

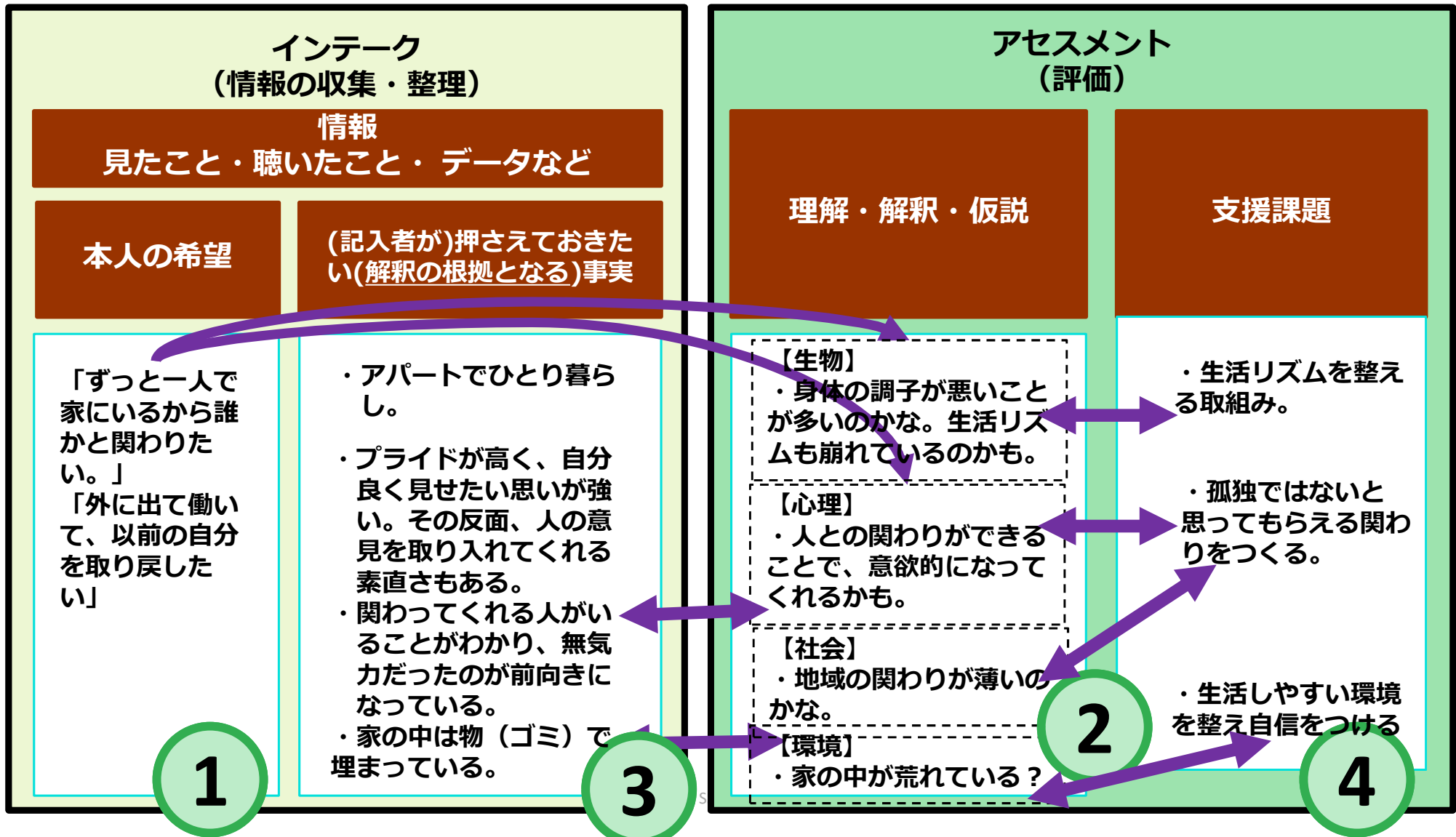
ニーズ整理の方法（1）



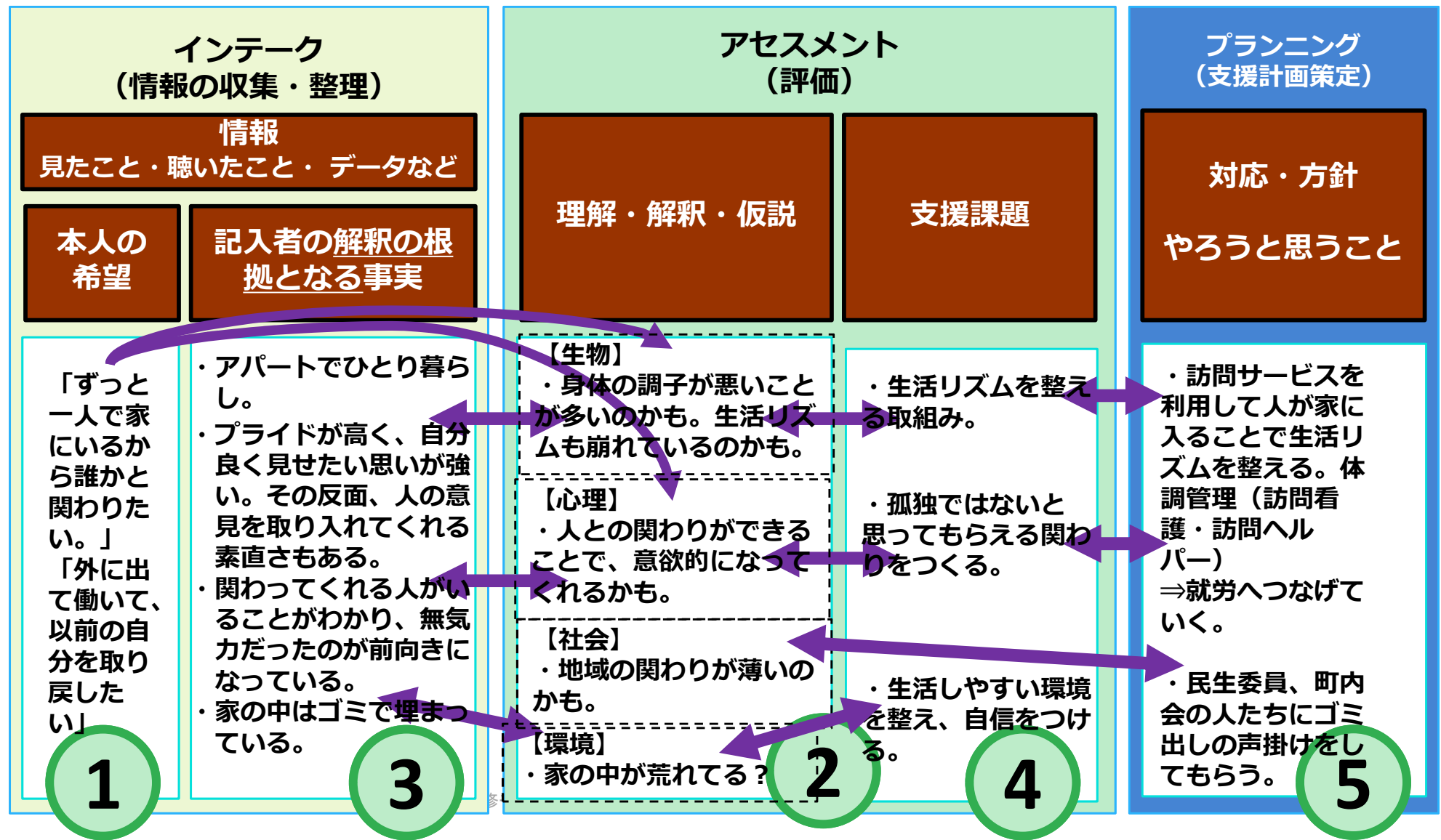
近藤直司

『医療・保健・福祉・心理専門職のためのアセスメント技術を高めるハンドブック』（明石書店）を改変

ニーズ整理の方法（2）



ニーズ整理の方法（3）



インターバル実習の最大のねらいは

地域の相談支援事業所とつながる ことです！

受講生が相談支援専門員になった時に、
つながりを活かして仕事ができるように。
みなさんとのつながりが支えになります。